



IWATA
LIONS
CLUB
REPORT

We
serve

[2012.7~2013.6]

磐田ライオンズクラブ

スローガン 利他の心で絆を深め、奉仕に精進する
努力目標 いたわりの心で汗を流して地域に貢献する

国際テーマ

“WE SERVE(われわれは奉仕する)”

334複合地区スローガン

“奉仕の世界は 熱い情熱と固い絆から”

334ーC地区スローガン

“笑顔で奉仕 人の心の豊かさを! 感動の奉仕で 日本再生”



2013 6



桜30本植樹

寒風の吹きつける寒い日にもかかわらず、ご参加ありがとうございました。

磐田ライオンズクラブCN55周年を記念しての一つのアクティビティ事業、安久路調整池東面堤防約300mへの桜の植樹。10m間隔で30本の桜を植えました。

西貝地区自治会、鳥之瀬地区自治会関係の皆様、ひょうたん池自然を考えよう会、子供会及び保護者の皆様、ご来賓には渡部修市長、安間英雄県議会議員、市民部長、産業振興部長、中遠農林事務所農水課担当の皆様にもご出席いただいたの総勢140人余の方々による桜植樹でした。

磐田ライオンズクラブ CN55実行委員長 大石明浩
(笑顔の奉仕写真コンテスト 優秀賞写真)

長～い1年間の感動体験

この1年間を時系列で振り返ってみたいと思います。

昨年7月11日静岡産業大学1年生への「薬物乱用防止講座」にL相場講師による名講演に居眠りする学生も無く、皆真剣に聞き入っていました。さすが場数を踏んだ経験がものを言うだけあって、私達も真剣に受講しました。同じく7月28日いわたジュビロード夏まつりのイベントに参加させて貰い「献眼登録運動」を行い、多くの登録者の署名を頂きました。親の署名を戴く為に子供さんをゲームに引き込んで時間稼ぎをしよう、との発想で「ヨーヨー釣り」「紙金魚すくい」等などのゲームを実施して計画通り沢山の登録を戴く事が出来ました。L小栗と看護師さん親子のご協力に深く感謝致します。8月25日「家族例会」は久しぶりに屋外に出て竜洋海洋公園でのバーベキュー大会、スイカ割り、フラダンス等などの沢山の企画を実行してくれた石井委員長率いる大会計画委員会のメンバーに深く感謝申し上げます。私が特にお願いしたのは、メンバーの家族に、ライオンズクラブはこんなに楽しい行事もしているし、奉仕活動も沢山やっているんだよ、と言う事を理解して貰って、気持ち良くアクティビティや例会・委員会に積極的に出席させて貰えるようにして欲しかった点でしたが、十二分に目的が果たせたと大満足をしています。12月20日、全く予定に無かった「YCE生受け入れ」マレーシア人の高校生、ベネッサさんを浜松駅まで迎えに行きL小栗宅でホームステイが始まり、12月29日から1月5日まではL青島宅でお世話になりました。この間メンバー各位の涙ぐましいまでのお世話で彼女が今までに体験した事より遙かに多くの、それも異国日本での経験を堪能出来たのではないのでしょうか。ライオンズのお陰で貴重な経験が出来たと、今思えば感謝の気持ちで一杯です。



会長
L. 鈴木和男

この頃からCN55の記念事業も活発に行われ始め、大池・ライオンズパーク・ひょうたん池へのベンチ設置や1月26日のひょうたん池桜植樹は寒風吹きすさぶ中に渡部市長、安間県議をはじめ140名もの参加者が協力して下さり盛大に行う事ができ、終わった後の甘酒が美味しかったこと!! 女性陣の心温まる優しさが特に身に沁みました、有り難う御座いました。2月16・17日「青少年書道コンクール」が開催され1,217点もの作品が集まりましたが、L大橋の最後のアクティビティとなってしまいました。

いよいよ本年度の最大イベント、CN55周年記念例会が4月18日岡野ガバナーはじめ2ZC、浜松ホストLC、2Z5クラブ会長、各種4団体会長様御列席のもと、磐田LCらしい、質素ではあったがアクティビティを中心にした事業報告が出来たと満足しています。5年前のCN50周年式典を体験していないメンバーも増えましたが、今回のCN55は先輩メンバー達が延々と磐田LCを継続してくれたお陰で開催出来た事に感謝する、と言う一面も有ることを理解して欲しいと思います。5年後のCN60周年に向かって活発な事業展開をしていきましょう!!

そして5月19日 334-C地区第59回年次大会が森町文化会館ミキホールにて開催され1R2Z6クラブがホストクラブとして運営に参加し、磐田LCは3件のアワードを頂き、本年度より審査対象になった「笑顔で奉仕、写真コンクール」で優秀賞を頂き、L加藤の頑張りが認められ本当におめでとう御座います。

残念な出来事です。L大橋 寛が3月18日80歳で、L新村俊治が4月14日74歳で急逝されました。心からご冥福をお祈りすると共にL新村の献眼に最大なる敬意を表します。

全てのメンバーに感謝の心を込めてお礼申し上げます、本当に1年間有難う御座いました。

アクティビティ・例会より

青少年書道コンクール（磐田市文化振興センターにて） 2月16・17日（土・日）



磐田市内の小学校3年生から中学校3年生までの7学年を対象に、磐田ライオンズクラブ青少年書道コンクールを4年ぶりに開催しました。1,217点の書道作品が出展され、どれも素晴らしい作品が集まりました。鈴木会長、L大橋寛をはじめ、クラブメンバーの厳正な審査の結果、各賞が決定し、その内、努力賞以上の294作品を展示しました。今回は従来の賞に加え新たに市長賞を設け、表彰式当日は受賞者（優秀賞以上）48名中40名が出席され、盛大に表彰式が執り行われました。磐田市教育委員会事務局長の鈴木様、当クラブ会長L鈴木和男より賞状・トロフィー・楯などが受賞者一人一人に贈られ、受賞者の嬉しそうな顔を見たときは、青少年の豊かな心づくりを応援することが出来たかな～と思いました。準備にあたりメンバーの皆様また事務局の協力に深く感謝いたします。ありがとうございました。

青少年・YCE・クエスト委員長 中村正夫

CN55周年記念例会 4月18日（木）



メンバー皆様のご協力により、CN55を何とか済ませる事が出来ありがとうございました。岡野334地区ガバナーはじめご参列下さった地区委員及び2Z各クラブ会長より、派手ではなく5年の節目の行事をつつがなく実行出来た事への称賛のお言葉を随所より頂きました。

先輩ライオンが築いて下さった磐田ライオンズクラブ。

日々、毎年毎年色々な事はあると思いますが、明るく、楽しく、意義ある活動を引き継いで行こうではありませんか。

今後ともクラブ皆々様の協力、絆を信じあい前進して行きましょう。

CN55実行委員長 大石明浩

いわた大祭りでの献血活動 5月18日（土）



5月18日いわた大祭り「遠州大名行列・舞車」での磐田ライオンズクラブ献血活動は、滞りなく終えることができました。地区年次大会準備と重なって人手の少ない中で、出席メンバーには献血の勧誘に汗をかいていただきました。お陰様で、101人もの献血の申し込みを得ることができ、赤十字の方も大変喜んでくださいました。協力していただいた皆様には、100点満点で101点以上を差し上げたい気分です。思い起こせば私が委員長の時（2000年）に、菊善さんの駐車場をお借りするようお願いしてから、14年。菊善さんでの献血活動は、今回が最後になるかもしれない…。そんな事を思いながら、ライオンズクラブの献血活動の重要性を改めて痛感しております。御協力いただいた皆様、どうもありがとうございました。心より感謝申し上げます。

献腎・献眼・献血委員長 鈴木 紳之

334-地区第59回年次大会 5月19日(日)

森町文化会館ミキホールにて、334-C地区第59回年次大会が行われ3部門において年次表彰を授賞しました。



グットスタンディング賞



会員増強賞



LCIF賞

CN55周年 記念事業



磐田市大池にベンチ6脚寄贈

磐田ライオンズパークにベンチ6脚、
テーブル付ベンチ6脚寄贈



新会員紹介



し みず ふみ ひろ
清 泉 文 英 (恵子) 2013.1.10 S31.8.1生
(SPL 山内盾夫)
(宗)正眼院 代表役員(住職) TEL 0538-34-8118
〒438-0056 磐田市小島738-1 FAX 0538-34-8142
同 上

E-mail hakuten@hb.tp1.jp

私は出会いを大切にしたいです。私一人では何も出来ませんが皆様と共に行動し、少しでも自分が向上出来ればと思っています。宜しく世間を教えてください。好きな言葉は和気生萬福です。



まつ の まさ ひ ろ
松 野 正 比 呂 (弥生) 2013.3.29 S31.12.15生
(SPL 鈴木和男)
市議会議員 TEL 0538-37-4561
〒438-0025 磐田市新貝2500 FAX 0538-37-4279
〒438-0083 磐田市富士見町3-7-1-202 TEL 0538-24-8189
FAX 0538-24-8189

E-mail matsuno-genki@nifty.com



たか ひ ら よし ろう
高 比 良 慶 朗 2013.3.29 S28.1.14生
(SPL 戸田政吉)
株式会社ヤマハフットボールクラブ 社長 TEL 0538-32-1148
〒438-0025 磐田市新貝2500 FAX 0538-36-2029



坂東玉三郎特別
舞踊磐田公演
文化事業協賛金
(20万円)

編集後記



今年度3回目の会報となりました。振り返ってみれば、今年度は通常活動とCN55記念事業活動による、数多くの情報を手掛けることとなりました。また、ホームページはクラブ自主運営となり、事務局はじめ数多くの方々にご協力を仰ぎ、どうにか運営する事が出来ました。レンズを通して感じたことは、ライオンズクラブは、いかに社会貢献し、人々が喜んでいただける活動をしていると感じさせられました。私もライオンズメンバーとして、微力ですが社会貢献出来るよう活動していきたいと思う次第です。1年間本当にありがとうございました。

PR情報委員長 L.加藤 克巳